

弘法大師著作研究部門

平成六年度研究所教員研究業績

○平成六年度は、『定本弘法大師全集』第四卷を平成七年二月に上梓した。

本巻には、法会場で講説されたときの著述と考えられる開題類を収載した。すなわち、『大日経開題』七部七卷、『金剛頂経開題』一卷、『教王経開題』一卷、『理趣経開題』三部三卷、『真実経文句』一卷、『実相般若経答釈』一卷、『仁王経開題』一卷、『法華経開題』三部三卷、『法華経釈』一卷、『法華経密写』一卷、『梵網経開題』一卷、『最勝王経開題』一卷、『金勝王経秘密伽他』一卷、『金剛般若波羅蜜経開題』一卷、『一切経開題』一卷、『釈論指事』二卷の十六作品と、参考資料として『大毘盧遮那成仏経疏文次第』一卷を収めた。本巻にも詳細な解説を付しているのので、是非参考にしたい。

○平成六年度の聖教調査は、東寺において行なつた。調査にあたり、御便宜・御協力たまりました所蔵者ならびに関係各位に、あらためて甚深の謝意を申し上げる。

平成六年度調査典籍

東寺（観智院金剛藏聖教、9・1・3）※最下段は函・典籍番号

報	禪林寺式	一卷	院政期写	108・3
	僧申文	一卷	貞永元年写	146・1
	東寺長者補任	一冊	室町初期写	188・2
	東寺長者補任	一冊	鎌倉末期写	188・5
	勸修寺長史并当寺別当任東寺長者次第	一卷	文明元年写	290・11
	東寺血脈 <small>小野本末</small>	二卷	文和二年写 又別22・24	(武内孝善)

松長有慶

○論文

- 「マンガラと生命」多田富雄・中村雄二郎編『生命—その始まりの様式—』誠信書房 一九九四年四月 二九一—三二六頁。
- 「四恩説の再検討」『密教文化』一八九号 一九九五年一月 一—二六頁。
- 「空海における忠と孝」『印度学仏教学研究』四三卷二号 一九九五年三月 七六—八二頁。
- 「密教美術のこころ」『密教学会報』三四号 一九九五年三月 一一—二〇頁。

○その他

- 「密教の靈魂観」『第三〇回高野山安居会講義録』一九九五年三月 一—五二頁。

村上保壽

○校訂・解説

- 『理趣経開題』、『真実経文句』、『実相般若経答釈』（共同編集）『定本弘法大師全集』第四卷 高野山大学密教文化研究所 一九九五年三月。

○論文

- 「空海における三密と「ことば」の世界」『東北哲学会年報』一〇号 一九九四年六月 五七—六四頁。
- 「自然との冥合—空海のコスモロジー—」『季刊仏教』二八号 一九九四年七月 一一—二〇頁。

「空海の神祇観」岡田重精編『日本宗教への視角』東方出版 一九九四年九月 一九五—二二一頁。

「秘蔵宝鑑」十四問答段に見る護法論』高野山大学密教文化研究所紀要』八号 一九九四年二月 二九—四八頁。

「密教と生命科学の対話」『密教文化』一八九号 一九九五年一月 一〇〇—九二頁。

○口頭発表

「生命科学と密教の対話」第三七回印度学宗教学会 一九九四年六月。

「密教における誓願」平成六年度日本仏教学会 一九九四年一〇月。

武内孝善

○著作

『寛平法皇御撰述書の基礎的研究』文部省科学研究費報告書 一九九五年三月。

○校訂・解説

「五島美術館蔵『不空三蔵表制集』の研究」高野山大学密教文化研究所紀要』八号 一九九四年二月 九五—一五八頁。

「寛平法皇御撰述書の研究・一—翻刻篇(1)・『寛平御遺戒—』」『密教学会報』三十四号 一九九五年三月 二一—五〇頁。

○論文

「高野山の開創をめぐる—弘法大師と丹生津比売命—」岡田重精編『日本宗教への視角』東方出版 一九九四年八月 二二—二四七頁。

「三十帖策子」と高野山—第一回中絶説の検討—」『宗教研究』三〇三号 一九九五年三月 二八四—二八六頁。

「御遺告の成立過程について」『印度学仏教学研究』四三卷一—号 一九九五年三月 八三—八七頁。

「御手印縁起の成立年代について」『密教学研究』二七号 一九九五年三月 六一—一〇八頁。

○翻訳

「長安西明寺の第一次発掘調査について」『高野山時報』二七〇九号 一九九五年一月 七六—八一頁。

乾 仁志

○論文

「中国における『金剛頂経』伝承—『略出経』を中心として—」『高野山大学密教文化研究所紀要』八号 一九九四年二月 一一—二七頁。

森 雅秀

○著作

The Devīmāhātmya Paintings Preserved at the National Archives, Kathmandu. Bibliotheca Codicum Asiaticorum No. 9, Tokyo: The Centre for East Asian Cultural Studies for Unesco, March, 1995. (森喜子と共著)

Five Hundred Buddhist Deities. Semi Ethnological Reports No. 2. Semi: National Museum of Ethnology, March, 1995. (立川武蔵・山口しのぶと共著)

○論文

「密教儀礼と聖なる空間」『日本仏教学会年報』五九卷 一九九四年五月 一〇五—一二二頁 (日本仏教学会編『仏教における聖と俗』平楽寺書店 一九九四年八月 一〇五—一二二頁に再録)。

『インド密教におけるバリ儀礼』『高野山大学密教文化研究所紀要』8号
一九九四年二月 一七四—一〇四頁。
『インド後期密教の儀礼文献の構成』『南アジア・東南アジアにおける宗教、
儀礼、社会』「正統」、ダルマの波及、形成と変容』(Monumenta Serin-
dica No.26) 石井 溥編 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究
所 一九九五年三月 一九—三四頁。

○口頭発表

『マンダラの形態の歴史の変遷』国立民族学博物館特別研究 アジア・太
平洋地域における民族文化の比較研究 第六回シンポジウム「マンダラと
自己—インド的宇宙論—」一九九四年一月。
『Iconography of Mandala according to the *Vajravalī-mā-māṇḍalopāyika*.
Symposium on Indo-Tibetan Tantric Buddhism. In Central Institute of
Higher Tibetan Studies, March, 1995.

○その他

〈シンポジウム抄録〉「マンダラの形態の歴史の変遷」国立民族学博物館
特別研究 アジア・太平洋地域における民族文化の比較研究 第六回シン
ポジウム マンダラと自己—インド的宇宙論— 一九九四年一月 一五
—一六頁。
『チベットの死者の書』とは何か 『ユリイカ』(臨時増刊号) 第二二六巻第
一三号 一九九四年二月 三〇—三九頁。

井ノ上(下松) 徹

○論文

『文殊菩薩—そのかたちと信仰—』『高野山大学密教文化研究所紀要』八号
一九九四年二月 四九—九三頁。

◎この他に、当研究所の教員がかかわったものとして法蔵館刊の『密教大系』
がある。

『密教大系』全二巻 一九九四年七月—一九九五年三月(共同編集・松
長有慶、共編者は宮坂宥勝、頼富本宏)。

『密教大系』一巻(解説・松長有慶) 一九九四年七月 四三—四三七頁。

『密教大系』二巻(解説・松長有慶) 一九九四年七月 四三七—四五二頁。

『密教大系』三巻(解説・松長有慶、乾 仁志) 一九九四年一〇月 四
三九—四五四頁。

『密教大系』五巻(解説・武内孝善) 一九九四年一月 四五七—四八
〇頁。

『密教大系』六巻(解説・武内孝善) 一九九五年三月 四六三—四八八頁。

『密教大系』八巻(解説・松長有慶、村上保壽) 一九九五年三月 四五
七—四七〇頁。

『密教大系』九巻(解説・松長有慶、共同執筆者は佐藤正伸) 一九九四
年一月 四四九—四六三頁。

『密教大系』一二巻(解説・松長有慶) 一九九五年三月 四七一—四九〇
頁。

平成六年度研究所活動報告

平成六年度は、以下の共同研究と講演会を行った。

共同研究

○テーマ

「サーダナマラーを中心とする成就法文献の研究」

○スタッフ

生井智紹（文学部教授）

藤田光寛（文学部教授）

奥山直司（文学部助教授）

室寺義仁（文学部講師）

乾 仁志（密教文化研究所講師）

森 雅秀（密教文化研究所講師）

○期間

平成六年度は、四月～一二月の間に、計五回の研究会を開いた。

○目的・成果

本研究会は、成就法の研究を通じてインド密教の実態を解明し、インド仏教史における密教の位置づけを行うことを目的とする。平成六年度の研究会では、後期インド密教の成就法の集大成である『サーダナマラー』の一部の成就法について解説を進めた。

講演会

当研究所では、平成六年度密教文化講演会と題して五回の講演会（於高野山大学二〇四号教室）を開催した。日時、講師、演題は、以下のとおりである。

○第一回講演（二〇月二五日）

乾 仁志講師

中国における『金剛頂経』伝承―『略出経』を中心として―

○第二回講演（二一月一日）

村上保壽教授

弘法大師の護法論

○第三回講演（二一月八日 於三〇七号教室）

井ノ上（下松） 徹助手

文殊菩薩―そのかたちと信仰―

○第四回講演

森 雅秀講師（二一月一五日）

インド密教におけるバリ儀礼

○第五回講演（二二月六日）

松長有慶所長

四恩説の再検討

※各講演の内容は、当研究所紀要の八号（二部）、『密教文化』一八九号）に発表している。

平成六年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

以下の寄贈図書及び交換誌は平成六年四月より平成七年三月末までの間に登録したものです。当研究所の図書充実のために関係諸機関ならびに関係諸氏には今後とも御協力と御支援をお願い申し上げます。

寄贈図書

- 『老いをはらう心の支度』 樋下一郎著
(いんなあととりつぶ社 平成5年12月) 霊友会殿
- 『大山公淳先徳聞書集成』第一巻 大山公淳和尚報恩刊行会編
(東方出版 平成6年4月) 編者殿
- 『観善和尚著作集』第三巻 善通寺編
(善通寺 平成6年12月) 編者殿
- 『高野山大学論叢』第二九巻 高野山大学編
(同大学 平成6年2月) 編者殿
- 『神道古典研究会報』15号 神道古典研究会編
(神道大系編纂会 平成5年12月) 同編纂会殿
- 『総合研究アジアにおける宗教と文化』 東洋大学東洋学研究所編
(東洋大学東洋学研究所 平成6年3月) 編者殿
- 『高楠順次郎の教育理念』 武蔵野女子大学学祖高楠順次郎研究会編
- (武蔵野女子学院 平成6年6月) 同学院仏教文化研究所殿
- 『第七五回大蔵会展観目録』 高野山大学編(2冊)
(同大学 平成元年10月) 京都仏教各宗学校連合会殿
- 『第七六回大蔵会展観目録』 花園大学編(2冊)
(同大学 平成3年1月) 京都仏教各宗学校連合会殿
- 『第七七回大蔵会展観目録』 大谷大学編
(同大学 平成4年12月) 京都仏教各宗学校連合会殿
- 『第七八回大蔵会展観目録』 龍谷大学編
(同大学大宮図書館 平成6年11月) 京都仏教各宗学校連合会殿
- 『大秘密四タントラ概論』 ガワン・バルデン著/北村大道他訳
(永田文昌堂 平成6年2月) 甲田博史殿
- 『中世町石卒都婆の研究』 愛甲昇寛著 北京日本学研究中心編
(ビジネス教育出版社 平成6年11月) 著者殿
- 『超密教時輪タントラ』 田中公明著
(永田文昌堂 平成6年11月) 甲田博史殿
- 『定本弘法大師全集』第3巻 弘法大師著作研究会編(2冊)
(高野山大学密教文化研究所 平成6年3月) 同研究会殿
- 『定本弘法大師全集』第4巻 弘法大師著作研究会編(2冊)

- 『高野山大学密教文化研究所 平成7年2月』 同研究会殿
(高野山大学密教文化研究所 平成7年2月)
- 『第一五回高野山大宝蔵展―天部の諸尊―』 高野山靈宝館編
(高野山靈宝館 平成6年7月) 編者殿
- 『日本学叢』3 北京日本学研究中心編
(同研究会中心 平成6年1月) 編者殿
- 『日本学論叢』4 北京日本学研究中心編
(同研究会中心 平成5年8月) 編者殿
- 『林崎文庫・塩竈神社村井古殿奉納書目録』上 谷省吾他著
(皇学館大学神道研究所 平成6年3月) 発行所殿
- 『抜萃のつづり』その54 熊平製作所編
(熊平製作所 平成7年1月) 松長有慶殿
- 『パリー学仏教文化学』第6号、第7号 パリー学仏教文化学会編
(パリー学仏教文化学会編 平成5年5月・6年6月) 編者殿
- 『密教の霊と救済』 村上保壽著 (2冊)
(高野山出版社 平成5年3月) 著者編
- 『明代西南民族史料明実録抄』第2冊 谷口房男他編
(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所 平成6年3月) 同研究所殿
- 『ユリイカ』第26巻13号 青土社編
- 『陽気な黙示録』 中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版社 平成6年4月) 編者殿
- 『The centre for East Asian Cultural studies for Unesco, *Directory of Buddhist and Indic Studies in Japan 1994*. Tokyo: The Toyo Bunko, 1994.』
発行所殿
- Asiatic Society of Pakistan, *Journal of the Asiatic Society of Pakistan*: Vol. 8, No. 1 & No. 2, Dacca: The Asiatic Society of Pakistan, 1963.
発行所殿
- Shamsul Hossain, *Art and the Vintage*. Chittagong: The Chittagong University Museum, 1988.
発行所殿
- Dhaka University Library, *Alphabetical Index of Bengali Manuscripts in the Dhaka University Library: Part I*. Dhaka: Dhaka University Library, 1985.
発行所殿
- Prakriti Ranjan Chakma & Mamata Chakma, *Contributions of Comilla to the Buddhist Culture in Ancient Times*. Comilla: Rasmoan Chakravarty, 1984.
発行所殿
- Department of Archaeology & Museums, *District-Wise List of Protected Monuments and Mounds in Bangladesh*. Dhaka: Department of Archaeology

& Museums, 1975.

発行所殿

○Tsunamari Kubo, *A Study Concerning the Acceptance and Reconstruction of a philosophy in its Assimilation into a Different Culture tao in Kumārajīva's Translation of the Lotus Sūtra*. Tokyo : The International The Institute for Buddhist Studies, 1994.

発行所殿

○Gadjin M. Nagao, *An Index to Asaṅga's Mahāyānasamgraha Part1 & Part2*. Tokyo : The International Institute for Buddhist studies, 1994.

発行所殿

○Morichi Yamazaki ... [et al.], *Dasaveśītya ; Pada Index and Reverse Pada Index*. Tokyo : The Chuo Academic Research Institute, 1994.

発行所殿

○Lozang Jamspal & Alex Wayman, *Abhidhānaviśvalocanam of Śrīharasena*. Narita : Naritasan Shinshoji, 1994.

成田山仏教研究所殿

○Morichi Yamazaki & Yumi ousaka, *Isibhāṣyāṁ ; Pada Index and Reverse Pada Index*. Tokyo : The Chuo Academic Research Institute, 1994.

発行所殿

○Asociación Latinoamericana de Estudios Budistas, *Revista de Estudios Budistas*. México : Asociación Latinoamericanos de Estudios Budistas, 1994.

発行所殿

○Fernando tola & Carmen Dragonetti, *Avayavītrakāna of Paṇḍita Asoka*. Tokyo : The International Institute ForBuddhist Studies, 1994.

発行所殿

○Morichi Yamazaki & Yumi Ousaka, *Āyāraṅga ; Pada Index and Reverse Pada Index*. Tokyo : The Chuo Academic Research Institute, 1994.

発行所殿

○Korean Buddhist Research Institute, *Buddhist Thought in Korea*. Seoul : Korean Buddhist Research Institute Dongguk University, 1994.

著者殿

○Rein Raud, *The Role of Poetry in Classical Japanese Literature*. Tallinn : Eesti Humanitarinstitutt, 1994.

発行所殿

○International Research Center for Japanese Studies, *Nichibunken Japan Review ; No. 5*. Kyoto : The International Research Center for Japanese studies, 1994.

発行所殿

交換寄贈雑誌

1 アジア・アフリカ文化研究所年報〈第28号〉

東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編（同研究所 平成6年3月）

2 アジア研究所紀要〈第21号〉

報

83 彙

- 3 叡山学院研究紀要〈第17号〉
 亜細亜大学アジア研究所編（同研究所） 平成7年2月
- 4 大倉山夏季公開講座3
 叡山学院（同学院） 平成6年12月
- 5 大倉山論集〈第35輯・第36輯〉
 大倉精神文化研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 6 大倉精神文化研究所編（同研究所） 平成6年3月・12月
 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第11号〉
 大谷大学真宗総合研究所（同研究所） 平成6年3月
- 7 かがみ〈第31号〉
 大東急記念文庫編（同文庫） 平成6年3月
- 8 教化研修〈第37号〉
 駒沢大学曹洞宗教化研修所編（同研修所） 平成6年3月
- 9 京都女子大学宗教文化研究所研究紀要〈第7号〉
 京都女子大学宗教文化研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 10 紀州経済史・文化史研究紀要〈第14号〉
 和歌山大学紀州経済史文化史研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 11 光華女子短期大学研究紀要〈第32号〉
 光華女子短期大学編（同短期大学） 平成6年12月
- 12 光華女子大学研究紀要〈第32号〉
 光華女子大学編（同大学） 平成6年12月
- 13 皇学館大学神道研究所紀要〈第10輯〉
 皇学館大学神道研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 14 国際シンポジウム〈第7集〉
 国際日本文化研究センター編（同センター） 平成6年3月
- 15 国際日本文学研究集會會議録〈第17回〉
 国文学研究資料館編（同資料館） 平成6年10月
- 16 国士館大学文学部人文学会紀要〈第27号〉
 国士館大学文学部人文学会編（同学会） 平成6年10月
- 17 嵯峨美術短期大学紀要〈第19号・第20号〉
 嵯峨美術短期大学編（同短期大学） 平成5年・平成6年12月
- 18 商業史研究所紀要〈第3号〉
 大阪商業大学商業史研究所編（同研究所） 平成6年10月
- 19 信愛紀要〈第34号〉
 和歌山信愛女子短期大学学術研究会編（同研究会） 平成6年3月
- 20 真宗文化〈第3号〉
 真宗文化研究所編（同研究所） 平成6年5月
- 21 人文研紀要〈第19号・第20号・第21号〉
 中央大学人文科学研究所編（同研究所） 平成6年9月
- 22 西山学報〈第42号〉
 西山短期大学編（同短期大学） 平成6年3月
- 23 禅研究所紀要〈第22号〉
 愛知学院大学禅研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 24 善通寺教学振興會紀要〈創刊号〉
 善通寺教学振興會編（同振興會） 平成6年12月
- 25 中央学術研究所紀要〈第23号〉
 中央学術研究所編（同研究所） 平成6年12月
- 26 中央大学人文科学研究所年報〈第15号〉
 中央大学人文科学研究所編（同研究所） 平成6年3月
- 27 筑紫女学園短期大学紀要〈第30号〉
 筑紫女学園短期大学紀要編集委員会編（同短期大学） 平成7年1月
- 28 筑紫女学園大学紀要〈第7号〉
 筑紫女学園大学紀要編集委員会編（同大学） 平成7年1月
- 29 天台学報〈第36号〉

- 30 東京成徳大学研究紀要〈創刊号〉
叡山学院〈同学院 平成6年10月〉
東京成徳大学紀要編集委員会編〈同大学 平成6年3月〉
- 31 東京大学史料編纂所研究紀要〈第4号〉
東京大学史料編纂所編〈同編纂所 平成6年3月〉
- 32 東京大学史料編纂所報〈第28号〉
東京大学史料編纂所編〈同編纂所 平成6年3月〉
- 33 東京立正女子短期大学紀要〈第22号〉
東京立正女子短期大学紀要編集委員会編〈同短期大学 平成6年6月〉
- 34 東洋学術研究〈第33巻第1号〉
東洋哲学研究所編〈同研究所 平成6年5月〉
- 35 東洋学論叢〈第46集・第47集〉
東洋大学文学部紀要印度哲学科篇18・19（19のみ2冊）
東洋大学文学部編〈同大学文学部 平成5年・平成6年3月〉
- 36 東洋大学中国哲学文学科紀要〈創刊号・第2号〉
東洋大学文学部中国哲学文学科編
（同大学文学部 平成5年・6年3月）
- 37 東洋の思想と宗教〈第11号〉
早稲田大学東洋哲学会編〈同学会 平成6年6月〉
- 38 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第15号〉
同朋大学仏教文化研究所編〈同研究所 平成6年12月〉
- 39 成田山仏教研究所紀要〈第17号〉
成田山仏教研究所編〈同研究所 平成6年9月〉
- 40 日文研〈No. 10・No. 11〉
日文研編集委員会編〈国際日本文化研究センター 平成6年3月・7月〉
- 41 日本研究〈第10集・第10集資料編〉
国際日本文化研究センター編〈同センター 平成6年8月〉
- 42 日本語と日本語教育〈第22号〉
慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター編
（同センター 平成6年3月）
- 43 日本文化研究所研究報告〈第30集〉
東北大学日本文化研究施設編〈同施設 平成6年3月〉
- 44 福井県立大学論集〈第4号・第5号〉
福井県立大学論集編集委員会編〈同大学 平成6年3月・7月〉
- 45 仏教学会報〈第18・19合併号〉（2冊）
高野山大学仏教学研究室編〈同学会 平成6年7月〉
- 46 仏教研究〈第23号〉
国際仏教徒協会編〈同協会 平成6年3月〉
- 47 仏教大学総合研究所紀要〈創刊号〉
仏教大学総合研究所編〈同研究所 平成6年3月〉
- 48 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第24冊・第25冊〉
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編
（同研究会 平成6年3月・11月）
- 49 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書・別冊・図像蒐成2
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編〈同研究会 平成6年3月〉
- 50 文研会紀要〈第4・第5合併号〉
愛知学院大学院文学研究科文研会編〈同文研会 平成6年3月〉
- 51 平和と宗教〈第13号〉
庭野平和財団編〈同財団 平成7年1月〉
- 52 北陸宗敎文化〈第6号〉
北陸宗敎文化研究会編〈同研究会 平成6年3月〉
- 53 民具マンスリー〈第27巻1号・12号〉
神奈川大学日本常民文化研究所編
（同研究所 平成6年4月・平成7年3月）

54 武蔵野女子大学仏教文化研究所紀要〈N. 12〉

武蔵野女子大学仏教文化研究所編（同大学 平成6年4月）

55 龍谷史壇〈第103・104合刊号〉

龍谷大学史学会編（同学会 平成6年12月）

56 龍谷大学論集〈第379号〜443号〉

（ただし、398号、403号〜417号、420号〜421号、424号〜432号、434号〜437号、439号〜440号、442号を除く）

龍谷学会編（同学会 昭和40年11月〜平成5年12月）

57 歴史と民族〈11〉

神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所 平成6年8月）

（同センター 平成5年）

平成七年密教文化研究所だより

○当研究所の専従研究所員である村上保壽教授が、平成七年七月一三日付けで、博士文学の学位を東北大学から授与された。学位請求論文は、『空海の世界と智の構造』。当研究所では、村上教授の学位取得を記念して、講演会と祝賀会を去る九月二七日に本学で開催した。

○平成七年四月一日付けで、ロボアム・ティエリ・ジャン（期間Ⅱ平成七年四月一日〜平成八年三月三十一日）、渡辺武一郎（期間Ⅱ平成七年四月一日〜平成九年三月三十一日）の両氏が当研究所の受託研究員として受け入れられた。

密教文化研究所構成員名簿 (平成七年十月現在)

所長 (兼)

松長 有慶 (文学部教授)

専従研究所員

村上 保壽 ()

〃

乾 仁志 (文学部助教授)

兼任研究所員

武内 孝善 ()

専従研究所員

森 雅秀 (文学部講師)

助手

井ノ上 徹

研究所課長補佐

甲田 博史

専門員

田寺 則彦

主任

堀畑 朝

書記

跡部 正紀

三星みや子 (非常勤)

【教職員人事】

☆文学部へ配置換 (平成七年四月一日付)

村上 保壽 教授

乾 仁志 講師

森 雅秀 講師

☆昇補 (平成七年四月一日付)

乾 仁志 文学部助教授

高野山大学密教文化研究所規定

(総則)

第一条

この規程は、高野山大学（以下「本大学」）学則第三十九条に基づき、密教文化研究所（以下「研究所」）の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

(目的)

第二条

この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以つて目的とする。

(事業)

第三条

前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条

研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門
- ③ 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- ④ 総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域について総合的な比較研究を行う。

(職員組織)

第五条

研究所に次の職員を置く。

(研究所長)

第六条

- ① 研究所長 若干名
 - ② 研究所員 若干名
 - ③ 研究所員 若干名
 - ④ 第九条に規定する事務職員 若干名
- 研究所長は、本大学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

(研究所員)

第七条

研究所員は、本大学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

- 2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。
- 3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。
- 4 専従研究所員の任期は二年とし、重任を妨げない。
- 5 専従研究所員の担当する授業、時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。
- 6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。
- 7 兼任研究所員の任期は一年とし、重任を妨げない。

(研究員)

第八条

研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

- 2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。
- 3 専任研究員の任期は三年とし、重任を妨げない。
- 4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。
- 5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

- 6 委託研究員の任期は一年とし、重任を妨げない。
- 7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究に従事する。
- 8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条

- 1 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。
- 2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。
- 3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。
- 4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

(運営)

第十条

- 1 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。
- 2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第十一条

- 1 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。
- 2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第十二条

- 1 この規定に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本大学学則及びその他の本大学の諸規定を準用する。

(規定の改廃)

第十三条

- 1 この規定の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

- 一 この規定は昭和三十三年四月一日より施行する。
- 一 この規定は昭和五十一年四月一日より施行する。
- 一 この規定は昭和五十九年四月一日より施行する。
- 一 この規定は平成二年二月十六日改定、同日より施行する。
- 一 この規定は平成三年二月十八日改定、同日より施行する。
- 一 この規定は平成三年四月一日改定、同日より施行する。

- 一 この規定は平成五年四月一日改定、同日より施行する。
- 一 この規定は平成七年五月十一日改定し、平成七年四月一日より施行する。

執筆者紹介（掲載順）

武内孝善 密教文化研究所

兼任研究所員

（文学部助教）

井ノ上 徹 密教文化研究所助手

（下松）

森 雅秀 密教文化研究所

専従研究所員

（文学部講師）

乾 仁志 密教文化研究所

専従研究所員

（文学部助教）

編集後記

○当研究所の紀要第九号をお届けいたします。今回の紀要には、武内孝善、井ノ上 徹、森 雅秀、乾 仁志の諸氏の論文を掲載しました。

○当研究所では、昨年度の密教文化講演会に引き続き、連続五回の講演会（密教文化研究所学術講演会）を開催いたしました。五回にわたる講演会の詳細は、次号の彙報で報告いたします。

○弘法大師著作研究部門では、平成七年度は、文化庁、醍醐寺、東寺、仁和寺で聖教調査を行いました。また、平成三年から刊行を開始しました『定本弘法大師全集』の第六回配本（第四卷開題類）を平成七年三月に上梓しました。残る第六卷『文鏡秘府論』ほか、第八卷『性霊集』など、第九卷『篆隸万象名義』、第一〇巻索引、および首巻は、今年度中にすべて刊行する予定です。

○「信仰と道」企画班は、今年度で第十回をむかえ平成七年十一月には、教職員および町内有志の参加を得て、役小角が発見し、弘法大師が難蛇龍王の夢のお告げにより浴場を開いたと伝えられている龍神街道を調査しました。この調査も十回目を数え一応の目的を達し、終了することになりました。来年度からは、別の企画を考えています。

○その他、当研究所の活動としては、弘法大師著作研究部門の密教関係聖教類の調査・整理の協力、日本印度学仏教学会の論文データベース採取協力、紀要の刊行、研究資料の蒐集と管理（コンピュータ導入により聖教類、マイクロフィルムなどの整理を行う）等を実施しています。

○『密教文化研究所紀要』が益々充実し発展しますよう、今後とも関係諸氏や研究機関には一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。

（平成七年二月、Y・I記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第九号

平成七年二月二日 印刷

平成七年二月二日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 松 長 有 慶

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (〇七五) 五二五三 〇六四八・〇三

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七―一三―一

電話 (〇六) 五八二五七二・一六 〇五五五